

## 環境配慮評価基準に係る誓約書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御中

以下の項目について誓約します。

※以下、誓約する項目についてレ点を付し、必要事項を記入する。

- ☐ 「奈良先端大特別管理産業廃棄物（実験廃液等）収集運搬及び処分業務」に提出される申請資料に虚偽の報告の無いこと。
- ☐ 以下の項目について公表していること。

項 目	公 表 方 法
環境/CSR 報告書	〇〇〇
温室効果ガス等の排出削減計画・目標	〇〇〇

- ☐ 本契約業務の入札日からさかのぼって5年以内に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則（昭和46年厚生省令第35号）第9条の3第1号に規定する特定不利益処分を受けていないこと（書類提出日から入札日までは見込みである。この期間に特定不利益処分を受けた場合には、速やかに国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学まで、特定不利益処分を受けたことを報告すること。）。
- （事業開始年月日：      年      月      日）
- ☐ 事業の透明性に係る基準に適合するために、インターネットを利用する方法により公表されている情報は、優良産廃処理業者認定制度運用マニュアル「3.3.3 公表事項」にある公表すべき事項がすべて公表されており、かつ、本業務入札参加時において最新のものであること。
- ☐ インターネット上で事業の透明性に係る情報については、以下に記載する URL をトップページとして公表していること。

URL : \_\_\_\_\_

年      月      日

住                      所  
称号または名称  
役職・代表者氏名

印

## 事業の透明性に係る基準を証明する提出書類について（補足）

優良産廃処理業務認定制度の優良認定を受けていない事業者は、事業の透明性に係る基準に適合する書類をインターネット上に公表するとともに、それを証明する書類を提出すること（インターネット上の公表画面のハードコピー等を印刷したもの等）。

公 表 事 項		適 用	
		収集運搬	処分
①	【法人の場合】法人に関する基礎情報	○	○
	【個人の場合】個人に関する基礎情報	○	○
②	事業計画の概要	○	○
③	申請者が受けている産業廃棄物の処理業の許可証の写し	○	○
④	事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図	—	○
⑤	直前三年間の産業廃棄物の受入量・運搬量	○	—
	直前三年間の産業廃棄物の受入量・運搬量・中間処理後の産業廃棄物の処分量	—	○
⑥	【法人の場合】直前三事業年度の財務諸表	○	○
⑦	処理料金の提示方法	○	○
⑧	業務を所掌する組織・人員配置	○	○
⑨	事業場の公開の有無・公開頻度	○	○

注：記載例①～⑨の公表事項の詳細については、優良産廃処理業者認定制度運用マニュアル「3. 3. 3 公表事項」を参照のこと。